

日本学術会議 フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会
持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会（第 25 期第 11 回）

議事要旨

日時 令和 5 年 5 月 30 日（火）13:00～15:00

会場 オンライン開催(Zoom)

出席委員：春日文子、窪川かおる、鈴木康弘、谷口真人、日置光久、氷見山幸夫、福士健介、
山形俊男、小田宏信、小林亮、丹羽淑博

オブザーバー：嵩倉美帆、小熊幸子、棚橋乾

事務局：齊藤美穂、稲元祥吾、内山貴裕、春日陽一

議題

- 1) 分科会に関する国際的・国内的動向
- 2) 小委員会報告
- 3) 8 月開催の学術フォーラムについて
- 4) その他

資料

資料 1：前回議事要旨案

資料 2：【委員名簿】FE 持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会

資料 3：学術フォーラムプログラム案「SDGs の達成に資する ESD カリキュラムの開発」

議事要旨

※ 8 月開催の学術フォーラムについて

- ・最初に議題 3) の 8 月 20 日に開催の学術フォーラムについて、資料 3 のプログラム案に基づいて議論した。
- ・ハイブリッドで実施することを確認した。
- ・フォーラム案内チラシに記載する後援団体について後援の確認を取ることとした。
- ・フォーラムの事例紹介ポスターについて
 - ロビーにポスターを掲示する。ポスターは計 20 枚掲示可能。両面を使えるボードが 10 台ある。
 - 開催日 8 月 20 日は夏休み終盤にあたり生徒の参加は難しい。そこで、生徒による立会説明は必修とせずポスター掲示のみも可とすることとした。
 - フューチャー・アース事務局から 4 枚程度、ユネスコアジアセンターから 1 枚程度、総合地球環境学研究所から 1～3 枚程度、成蹊大学 ESD センターから 1 枚程度の

- ポスターを掲示することとした。
- ▶ 学校での事例紹介ポスターについて、ESD/SDGs カリキュラム小委員会と海の学びカリキュラム小委員会から学校・先生等に呼びかけ、それぞれ数枚ずつポスターを集めることとした。
 - ▶ 最終的にポスターを web に掲載する方向を検討することとした。
 - ▶ ロビーでのポスター掲示は 12:00 より開始することとした。
 - ▶ 掲示する A0 ポスターの印刷費は、ポスター制作予算の中から出すことができる。
- ・フォーラムの第 I~III 部の口頭発表について
 - ・発表時間（15 分）を厳守するため、タイムキーパーを置いて 12 分に予鈴を鳴らすこととした。
 - ・フォーラムのディスカッションについて
 - ▶ ロビーに掲示する学校の事例紹介ポスターについて、ディスカッションの中でも紹介することとした。
 - ▶ ユースコメンテーターを、フォーラム第 I~III 部にそれぞれ 1~2 名ずつ付けて、ディスカッションの中で各部の発表に対してコメントしてもらおうこととした。ユースコメンテーターはオンラインでの参加も可とする。
 - ▶ ディスカッションの方法をさらに詰める必要がある。

※分科会に関する国際的・国内的動向

- ・次に議題 1) の分科会に関する国際的・国内的動向について情報交換を行った。
- ・小林委員より、国連 ESD for 2030 の第一回国際会議が日本において国連大学を会場にして開催されるとの情報提供があった。
- ・春日委員より、6 月 26-30 日にパナマにおいてフューチャー・アースの総会と Sustainability Research and Innovation (SRI) Congress 2023 が開催され、その一環でアジアスポットライトイベントが 7 月 10-12 日に開催されるとの情報提供があった。アジアスポットライトイベントでは、フューチャー・アース日本ハブとイオン環境財団による SDGs ターゲット設定に貢献するためのプロジェクトについての紹介が行われる。

※小委員会報告

- ・最後に議題 2) の小委員会の活動報告を行った。
- ・日置委員より、海の学びカリキュラム小委員会の活動報告が行われた。次回小委員会を 6 月 16 日 or 20 日に開催し、笹川平和財団海洋政策研究所・小熊幸子研究員より海洋リテラシー、国連海洋科学の 10 年について解説してもらい議論を行う。
- ・氷見山委員より、ESD/SDGs カリキュラム小委員会の活動報告が行われた。4 月 27 日に小委員会を開催し、学術フォーラムの発表内容について議論した。次回小委員会を 6 月中旬に開催する。

※その他
特になし